

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7
(榎田ビル2F)

TEL.054-252-2418

FAX.054-252-2430

発行人 井上博幸

第47回通常総代会の開催

平成二十三年度の通常総代会が、五月二十六日静岡市内のクイポール会館において開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓、八十三名の出席のもと、十三時から十五時三十分まで、熱心な審議がなされた。

会議の冒頭、井上理事長が挨拶に立ち、東日本大震災の復興や厳しい経済状況の中、組合員が一致団結して難局を乗り切ろうと訴えた。



続いて、議事の審議に入り議長に、井上弘氏(清水支部)、野尻勝美氏(静岡支部)が選任された。提案された第一号議案(二十二年事業報告)については、林副理事長が説明され、続いて第二号議案(二十二年会計決算

関係)は、中村会計理事、山本会計理事、金田会計理事から説明がされ、また、伏見監事から監査報告がなされ承認をされた。次に第三号議案(二十三年事業計画案)については、井上理事長が説明し、第四号議案(第二十三年度予算案)については、中村会計理事が説明して承認された。第五号議案(借入金最高限度額及び取引金融機関の決定)を井上理事長が説明し、承認された。最後に第六号議案(役員改選)について、別掲のとおり新役員が選任され、理事長、副理事長は再任された。この後、懇親会が開催され来賓の協力店等を交え、昨今の経済情勢や業界情報が熱心に語られていた。

総代会あいさつ

理事長 井上博幸

本日、ここに第四十七回通常総代会を開催いたしましたところ、総代を始め、各役員、青年部等、多くの組合員の出席をいただき盛大に開催できることを感謝いたします。



また、ご多忙のところご臨席を賜りました、ご来賓の皆様方には心からお礼を申し上げます。

また、この度の東日本大震災により、被災されました多くの皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。この震災により、現在わが国は、有りとあらゆる分野で大変な苦境に立たされていますが、本県に於いても富士宮で震度六強の地震が発生し、周辺地域ではその復旧に日夜努められているところとす。

いづれにしても、被災地の復興、復興には相当の年月を要すると思われまますので、我々も建設業界に身を置く者として、今後、復興への一翼を担うと言う、強い気持ちを持って臨むことが必要であると考えます。

一方、我々建築板金業界の現状は、受注の大幅な減少や資材価格の高騰、施工単価の下落、更には

高齢化と後継者不足など依然として厳しい状況が続いています。こうした状況を打破するためには、組合組織の総力を結集して行動を起こしていく必要があると思います。

さて、二十三年事業業については、前年度に引き続き、技術技能の向上を図る各種講習会の開催や小中学生のWAZA教室への支援、労働災害防止のための啓発活動、安全パトロールの実施、また、経営環境の安定に資する適正な施工価格の確保や責任施工保証制度の推進などに取組んで参ります。

これらの事業推進に当たっては、事業効果を向上させる見直しや今後の新たな取組みとして何が出来るのかなどの検討も求められています。例えば、今注目の太陽光発電や住宅リフォーム事業への参入や新分野開拓の情報交換なども必要と考えられます。

また、重要な課題として、後継者の育成確保の問題があります。今後の組合や業界を担ってもらう組合員皆様方の後継者が青年部に入会いただき、技能の更なる修得や経営上の問題など研修して頂くことも必要でありますので、この機会にお願い

を申し上げます。結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況にありますが、今こそ組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えようではありませんか。そして、ご臨席のご来賓の皆様には、これまでにまして、ご理解とご協力をお願い申し上げますが、私の挨拶と致します。

県板功労表彰

通常総代会において多年にわたり静岡県板金工業組合の事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された次の十一名の皆さんに、井上理事長から表彰状と記念品が授与された。

支部名	氏名
伊豆支部	横山 文明
三島支部	佐野 秀之
御殿場支部	小林 清
同	滝 善幸
富士支部	水野 正人
清水支部	西ヶ谷基二
同	丹所 且臣
静岡支部	鈴木 強
焼津支部	田中 肇
榛南支部	平野 直樹
中遠支部	角川 則久

(敬称略)

鉄鋼二次製品・伸銅品・建材の総合卸
金属製屋根・壁材の加工販売

株式会社 小池弥太郎商店

本社・工場 〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番
TEL.054-263-2280

藤枝営業所 〒426-0041 藤枝市高柳 2149-1
TEL.054-636-4040

牧之原工場 〒421-0412 牧之原市坂部 110-7
TEL.0548-25-3975

東京事務所 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28
エッセル神田5B
TEL.03-5297-4840

トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折板構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

あんしん財団は、中小企業の皆さまをサポートしています!

あんしん財団
http://www.anshin-zaidan.or.jp/

ケガの補償 災害防止 福利厚生

静岡支局 ☎0120-311-816

委員会委員名簿 (平成23・24年度)

新役員 (平成23・24年度)

Table with 4 columns for committee members and 3 columns for new officers, listing names and positions.

平成22年度収支決算書

平成23年度収支予算書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

(単位:円)

(単位:円)

Income and Expense Statement for FY22, showing budget and actual figures for various categories.

Income and Expense Statement for FY23, showing budget and actual figures for various categories.

*各科目間の流用を認める。

財産目録

23. 3. 31現在

Balance Sheet table showing assets and liabilities as of 3/31/23.

貸借対照表

23. 3. 31現在

Balance Sheet table showing assets and liabilities as of 3/31/23.

利益処分(案) 計算書

Profit Disposal (Proposed) Statement of Accounts, detailing profit distribution.

平成23年4月12日

静岡県板金工業組合 理事長 井上 博幸 印

同 会長 中村 敏一 印

同 同 山本 泰義 印

同 同 金田克比呂 印

以上の各項につき監査の結果、適正なものと認めます。

平成23年4月12日

監事 志村 正勝 印

同 伏見 一雄 印

同 同 宮崎 忠弘 印

全板連青森大会47名参加



第63回全国建築板金業者大会が、五月十二日(木)青森市で開催され、東日本大震災で参加者の確保が心配される中、「がんばれ日本! まけるな東北!」を合言葉に全国から約三千名の同業者が参加した。本県からは中部ブロックで最も多い、47

青森大会に

参加して

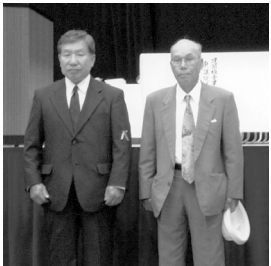
副理事長 松浦 源

5月11日浜松駅7時31分発新幹線「こだま」へ、掛川、静岡、新富士、三島、熱海の各駅から組合員47名が合流。東京駅からは、東北新幹線「はやて123号」にて一路新青森駅へ。到着後、青森市内の「棟方志功記念館」

名が参加し、大会前後三日間に亘り青森県内の各地を訪れた。

大会では、今直面している今世紀最大の国難に打ち勝つため、災害復興等に業界組織が一丸となって取り組むことなどが宣言された。

また、大会の表彰式では、本県から伊豆支部の大川俊太郎氏と焼津支部の秋山幸男氏が功労賞を受賞された。



を見学し、宿泊先の浅虫温泉へ。

早めの夕食を済ませ、マイクロバスにて青森市中心街へ「ねぶた」見学。歩道に2500人を超える、各県組合員が溢れる中、青森県板の大型ねぶたが運行された。青森県板関係者450名が参加し、ねぶたを囲むラッセラ、ラッセラのハネトの踊りや太鼓、笛の勇壮なお囃子で進む、なんと素

晴らしい光景。本番は8月2日から、12台の大型ねぶたが一斉に運行されるとのこと。時間が取れば、一度見に行きたいと思う次第でした。見学後は一路宿に戻り、宴会は無いので部屋にて仲間と一杯。



12日、浅虫温泉より全国大会会場の青い森アリーナへ。全板連勝又理事長の有終の挨拶、青森県板山田理事長、建築板金議員連盟石破茂会長等の挨拶、表彰式、大会宣言等で終了。昼食を兼ねて屋外の工具機械の展示会を見学。

13日過ぎに会場を出発。弘前城公園、岩木山、嶽温泉へ。途中なんと露の臺がいつぱい、季節の違いを感じた。山のお宿で、18時より

宴会。理事長挨拶、全板表彰の東部の大川俊太郎氏、中部の秋山幸男氏を祝う。2時間半の宴会が終わり、各自部屋に戻り、酒を取り寄せ仲間と酌み交わす。宿の外には露の臺しかない、そんな一夜を静かに過ごす。

13日、嶽温泉を8時30分出発、津軽伝承工芸館へ。白い花咲く林檎街道を経て十和田湖到着。遊覧船で小雨の十和田湖を見学。湖畔にて昼食、雨も上がり奥入瀬溪流へ。新緑が映え、自然がいっぱいの中、全員時を忘れ散策する。

バスにて八戸駅に到着、帰路につく。途中仙台駅周辺では、屋根にブルーシートの掛かる家が数々目に入った。東京駅より新幹線の県内各駅を経て各自無事、自宅に戻る。お疲れ様でした。

松浦節子

今年の大会は震災後間もなくでしたので、一時は取り止めるのではないかと危ぶむ中、開催する意向と云う。家族に介護者が居るので、子供達の力を借りて何とか参加できた。少しでも東北地方の復興に繋がる手助けになるとの思いもありました。

組合員様の家庭もそれぞれの事情をかかえており、決して物見遊山ではないと思います。



大会では青森の組合員様、従業員、家族総出にて出迎えてくれ、肅々たる雰囲気を感じました。主人も今回は自重し、静かな思い出に残る旅行となりました。

宿の「またぎ飯」忘れない位美味しかったです。それと岩木山周辺、フキの薹が顔を出し、まだ冬の眠りから覚めたばかりの宿の周りでもたくさん摘めたので、我が家のお土産になり、翌朝は味噌汁の具に、天ぷら、フキ味噌等に料理し、有り難く頂きました。「東北の 息吹漲る 露の薹」

旅の思いを歌に残す

常任理事 野村和稔

「晴れやらぬ身の浮雲のたなびきてみちのくをゆくはやて123号」

「新幹線の 中被災地を想ひ」

「乳白の空より そよぐ旅の風 津軽の香り 我はいとほし」

「新青森駅に 降り立って」

「津軽富士 夕日を浴びて雲あかね 麓の桜今を盛に」

「新緑の 奥入瀬川の水の音 静岡びとよ 何を想はん」

平成23年度清水支部盆総会開催



泉板常任理事

青木 進

平成23年7月15日午後6時より静岡市清水区相生の「ホテルサンルート」で清水支部恒例の盆総会を開催した。

当日は組合45名、来賓24名の出席を得て、熱気溢れ盛況な総会となった。最初に伏見一雄支部長



から、挨拶の中で猛暑続きの中、熱中症への対策等健康に十分留意するよう話があった。また、来賓の皆様からも、体調に気をつけて仕事に頑張っていたり、励ましの言葉をいただいた。乾杯の音頭を泉板常任理事の北村弘氏にお願いして、懇親会に移った。

厚生労務委員会開催

厚生労務委員会が、6月17日に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、林委員長を始め19名の委員が出席し、労働災害対策から福利厚生関係など幅広い課題について熱心な討議が行われた。

1 安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会事業の安全パトロールについては、昨年に引き続き東中西の各地区で実施するが実施時期は未定となっている。また、木造家屋建築工事安全対策協議会のパトロールに参加している支部もあるが、頻りに指示、指導が行われており、その実態について、県板にも報告して欲しい旨、委員長から要請があった。

2 労働災害防止対策

労基署によっては、大変厳しい点検、取締りを行っている地区があり、足場の不備により作業を差止められた事例が紹介され、作業開始前に自らもしっかり点検し、不備については現場監督にはっきりと申し出ることが必要とされた。

また、安全対策についても、各種資格が尊重される時代になっているので、必要な資格取得は、県内各地で行われている建災防の講習会等を活用することが確認された。

3 熱中症の予防

昨年県内でも多くの熱中症が発症しており、屋外作業に従事する組合員にとって、万全の予防措置が必要であり、また、こまめに休憩を取ったり、異常を感じた時の早めの対応などが求められる。

長年の経験に基づく意見交換がなされ、近年の気象変化に伴う作業現場の環境変化や水分補給の方法、服装、保冷剤の活用、塩分の摂取などの実例が紹介された。

4 全板連全国大会について

青森大会について、47名の参加者の状況、経費の精算について報告があった。

次の山梨大会は24年5月17日(木)に甲府市で開催されるが、県板としては、今後1泊2日の予定でコースの選定、参加費用の算定を検討していくこととしている。

5 県板の取扱い保険について

県板で現在取り扱っている11種の保険について、その内容、加入者数、取扱い手数料について事務局から説明があった。また、団体保険について、代理店のプレステージから説明があり、給付内容等について委員との質疑応答がなされた。

委員長からは、全国板金業国民健康保険については被保険者数が全国最下位のため、他の保険から加入替えできる組合員は協力して欲しい旨要請があった。

6 東日本大震災義援金について

各支部382名から887,000円の義援金が寄せられ、被災7県板に対して、全板青森大会の式典の中で贈与された。

技能検定実技試験講習会

23年度技能検定実技試験に向けて、事前講習会が、6月4日(土)、5日(日)の2日間ポリテクセンター静岡で実施された。今年度の受講者は昨年の半数にも届かない、1級11名、2級1名で、指導に当たる技術検定委員もその原因は、分らないと言う。

しかし、今年度の受講者は、開始30分前に全員揃い、休憩時間も惜しんで取り組むなど、その熱心さに指導員も力が入り成果が上がったと評価している。7月20日の実技試験本



番には、全員が努力の成果を遺憾なく発揮して、良い結果が得られることを期待する。

技能競技大会の開催

今年度の技能競技大会は、10月9日(日)にポリテクセンター静岡で開催される。課題作品は昨年と同様にAコース「ちりとり」Bコース「水差し」となった。競技大会参加者を対象にした事前講習会は、9月11日(日)ポリテクセンター静岡で実施される。

入賞者は県知事等から表彰され、またBコース優勝者は全国大会へ出場することとなる。技術検定委員会では、一人でも多くの後継者や従業員の参加を期待している。

<責任施工制度のステッカーを再発行>

全板連の「責任施工保証制度」は、ご案内のように非組合員との差別化を図る上で極めて重要な制度であり、外部に向け積極的にPRしていく必要が言われています。

このため過去に事業所や車両に添付するステッカーを作製、発行をしましたが、在庫がなくなり、先般常任理事会の議を経て再度発行することになりました。

ステッカーは、前回と同様のサイズ、配色で、販売価格は1枚800円でお願ひすることになりました。

つきましては、同制度の利用の有無に関係なく、是非ともご購入、ご活用いただきたく、各支部で取りまとめのうえ、県板事務局にご連絡ください。



《インターネットの開設》

本年7月遅ればせながら、県板事務局にインターネットを開設することが出来ました。これにより、メールの送受信が可能になりましたので、事務局への連絡等にご利用ください。メールアドレスは、次のとおりです。

[E-mail : siz-kenban@yj9.so-net.ne.jp]

欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品 / 銅・アルミ・ステンレス / 化学製品
機械工具 / 住宅設備機器 / エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

本社 / 〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644

セキノ横段屋根工法
ダンネットトップ 快速横段15
スッキリした 観音ラインが美しい 快速エコルーフ

ジョイント部材不要 施工性
二重防水構造 防水性
遮熱塗装鋼板使用 遮音性
断熱ボード工法 断熱性

長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・IT・工具販売
住まい造りのおてつだい

萩原スチール株式会社

お気軽にお問合せ下さい

本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700

屋根積算はこれで安心

屋根積算ソフト 板金王

業界初 レンタル契約で安心

板金王で商売繁盛

お求めは静岡県特約販売店10社へ
板金王 総発売元 西川鋼販株式会社

プレステージ

やね屋の太陽光発電! やってます!!



株式会社 植松

本社	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
沼津営業所	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555
御殿場営業所	御殿場市清後545-1	TEL 0550-83-6760
伊東営業所	伊東市宇佐美稲田1111	TEL 0557-47-1363
富士営業所	富士市松岡寺新田413-5	TEL 0545-62-0233
製造部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1004
建販部	沼津市西沢田200-1	TEL 055-922-1555